

○ 8月28日（月）から9月1日（金）までの5日間、当事務所において神戸大学の学生1名を受け入れ、就業体験実習を実施しました。この実習では、近年の異常気象に対する昨今の河川防災について理解を深めていただくために、現行の河川防災の考え方からソフト・ハード面での具体的な整備までを幅広く学ぶことのできるカリキュラムを体験していただきました。最終日には、就業体験実習の成果から今後の河川行政に必要なことを考察し、発表していただきました。

【実施概要】（赤字は、現場見学、現地調査含む）

- 8 / 28（月）：概要説明、所長との懇談会、行政の広報の取り組み、野洲川改修計画説明、**野洲川堤防・防ステ現地視察**
- 8 / 29（火）：流域治水概要説明、野洲川ヨシ帯再生の取り組み説明、**瀬田川洗堰の操作説明、高時川災害復旧工事現地視察**
- 8 / 30（水）：河川管理・河川占用概要説明、**鹿跳改修計画説明・現地視察、天ヶ瀬ダム現地視察**
- 8 / 31（木）：**瀬田川船上巡視点検体験、大津放水路概要説明・現地視察**
- 9 / 1（金）：瀬田川堤防強化工事設計審査会の傍聴、報告会発表資料とりまとめ、実習報告会

天ヶ瀬ダムゲート室



高時川災害復旧現場



設計打ち合わせ



実習報告会

【今後の河川事業・行政に必要なこと】
▷ 災害復旧の現場が特に印象に残っており、今後は**気候変動によって激甚化していく災害への対策は必須であると感じました**。現在、対応策として流域治水が進められていますが、今後はさらに**河川が気候変動の解決策**となるように利用していくことが重要ではないかと思いました。



集合写真



実習後、インターン生から手紙をいただきました！

▷ 様々な現場に触れ、関係者と直接お話をさせていただくことで、**行政としての河川事業への理解を深められた**と同時に、**国土交通行政の魅力を知ることができた**と感じています。この経験を活かして、大学での研究・就職活動に励んでいきたいと思っております！事務所の皆様に心から感謝申し上げます。

採用情報はコチラ



近畿地方整備局採用サイト